

ボイスサンプル用原稿

太陽系第3惑星、「地球」。

奇跡の星とも言われているその地球が今危機的状況におかれている。

地球温暖化である。

気候変動に関する政府間パネル=IPCCによると、

人間活動によって排出される温室効果ガスの増加がその原因とされている。

しかし実際のところ、はっきりした根拠は明らかになっていない。

地球の歴史において、過去変動を繰り返してきた温暖化と寒冷化。

今回もまた、温暖化は自然変動の範囲ではないかという懐疑派がいるのも事実。

そもそも地球は太陽放射を受け、温められている。

ところが一旦受けた太陽からの熱エネルギーを宇宙空間に再放射しているのである。

それが二酸化炭素に代表される温室効果ガスによって、平均気温 15°Cの快適な環境が作り出されている。

もし二酸化炭素がなければ地球の平均気温は-18°Cとなり、氷に閉ざされた世界になるのである。

とは言うものの、二酸化炭素量が増加しているのは明らかな事実であり、

その増加率が急上昇しているのが問題なのではないのだろうか？

このまま温暖化が進めば、疫病発生地域の拡大や生態系にまで影響を及ぼすことが予想されている。

そうなればもはや奇跡の星などとは呼べなくなってしまう。

地球を一つの生命体と考えれば、その生命体を危機に追い込んだのは人類であり、

その命を救えるのもまた人類しかいない…